

# 安全管理

## —平成 27 年度クレーン年次点検報告—

### 技術部クレーン点検 WG

#### 1 はじめに

技術部クレーン点検WGでは、クレーンの使用状況により、月次および年次の定期自主点検を実施している。しかし、高所にある走行レールなどについては、足場も無く、点検時の危険性が高いため、十分な点検が難しい。そのような状況より、使用頻度の高いクレーンや吊り荷重の大きいクレーンを対象に、専門業者による年次点検を実施したので報告する。

#### 2 年次点検結果

○工学部研究実験棟 構造材料実験室

- ・日立ホスト 2.8LS-TS55 (定格荷重 2.8t)
- ・立会者：戸田 (技術部クレーン点検 WG)

点検結果 : 走行レール締結用フックボルトの一部に緩みあり

その他問題無し



写真1 構造材料実験室の点検状況

○自然科学研究科実験棟 環境防災実験室

- ・東洋ホスト YH-28H ET-77 (定格荷重 2.8t)
- ・立会者：戸田 (技術部クレーン点検 WG)

点検結果 : 問題なし

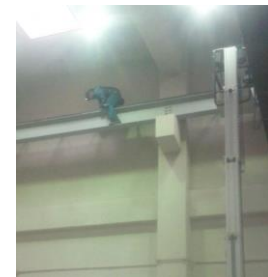


写真2 環境防災実験室の点検状況

#### 3 まとめ

今回の年次点検では、1台のクレーンに走行レール締結用のフックボルトの一部に緩みがあり、点検時に締め付けを行った。大きな問題では無いとのことであったが、通常の点検において、懸念していた箇所であったため、発見後、直ぐに対処出来たことは幸いであった。このような不具合は、今回の点検対象外のクレーンにおいても起こり得るため、通常のWGでの点検においても注意が必要である。また、専門業者による点検は、今後も実施し、結果から得た情報をWGで共有し、点検技術の向上を図ることも不可欠である。

文責 クレーン点検WG 戸田善統